とくしま 県議会だより

第82号 ［年4回掲載］ 平成26年8月3日

編集／徳島県議会
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL.088-621-3010 FAX.088-655-2530
ホームページアドレス
http://www.pref.tokushima.jp/gikai/
二次元コード

平成26年6月徳島県議会

定例会の概要

（会期 6月24日～7月10日）

開会日には、知事から、平成26年度補正予算などが提案され、地域経済の好循環の実現、観光誘客の促進、地震津波・防災減災対策などの重要課題について、所信が述べられました。

代表・一般質問では、基金の活用等県財政の運営方針、人口減少社会対策、介護保険等に係る高齢者福祉施策、道路、橋梁、公園等の社会資本整備、災害医療体制の構築等の防災減災対策、担い手確保による農業振興等の農林水産業施策、スポーツ振興や人材育成等に係る教育施策などについて論議しました。

今定例会では、参議院選挙区の合区案に反対し、参議院の在り方を含めた抜本的な見直しを行うよう要請する「参議院選挙制度改革に対する意見書」等の意見書4件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案22件を原案どおり可決・同意・承認し、請願4件を採択しました。

代表・一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の要旨は次のとおりです。

答 知事の答弁　答 関係部局の答弁

代表質問

戦略的・災害医療プロジェクトを今後どう進めるのか

岡本富治（おかもと とみじ）（自由民主党・県民会議）

問 プロジェクトを進めるためには、最先端の介護ロボット等の新技術や、船舶の空間の活用などに予算が必要となるが、今後、どのように取り組むのか。

答 戦略的・災害医療プロジェクト会議を立ち上げ、基本戦略を策定し、震災対策基金を貴重な財源の一つとして活用し、徳島ならではの災害医療体制を構築する。

問 今年のとくしまマラソンは、過去最多の10373人が出走し、5億4千万円の経済効果があった。さらなる地域活性化の起爆剤とするため、参加人数の倍増を目指すべき。

答 今後、参加人数の増加に向けた諸課題について、2万人大会を目指して、2016大会から段階的に参加人数を拡大するよう取り組む。

問 地域商品券事業を契機とした地域経済の好循環の胎動を一過性のものとしないための今後の施策は。また、小規模企業振興法の制定を受け、どのような商工業振興策を展開するのか。

答 地域de買い物定着促進事業を実施し、全県的に地域内消費の定着を図る。また、小規模企業振興憲章（仮称）を策定し、本県経済の成長発展を加速させる。

国営総合農地防災事業・那賀川地区の早期再開を

嘉見博之（かみ ひろゆき）（明政会）

問 国営総合農地防災事業は、用水の安定供給等による農業生産の強化や、水管理施設の整備による渇水対策への貢献が期待される。県は早期再開に向けてどのように取り組むのか。

答 既存施設の有効活用や調整池の設置が変更計画に盛り込まれた。関係機関と連携して手続きを進め、平成27年度工事再開に向け、しっかりと取り組む。

問 南部健康運動公園は、県南部のスポーツ拠点として親しまれているが、公園の中核施設となる陸上競技場を、早期に事業着手し、東京オリンピック開催前には完成させるべき。

答 競技大会を想定し、公認区分や施設の仕様を関係団体と合意を整え、速やかに実施設計に着手し、平成32年の開催前の完成を視野に入れ整備を進める。

問 四国横断自動車道の新直轄区間では、先に事業着手した阿南・小松島間の用地取得や工事が着実に進捗しているため、当区間に集中投資し、小松島・徳島東間に先行して供用すべき。

答 阿南・小松島間は、県南部と県央部を結ぶ新たなバイパス機能を持つため、整備効果の早期発現を最優先に考え、一日も早い先行供用に取り組む。

マイナンバーを災害医療に活用するなど独自利用の検討を

黒﨑 章（くろさき あきら）（新風・民主クラブ）

問 マイナンバー制度導入に伴う自治体のシステム整備について、国の予算措置はどうなっているか。また、マイナンバーを災害医療に独自利用すべきだ。

答 国が補助金に上限を設定したため、不足が生じる場合の財政措置について緊急要請した。また、災害医療への活用も含めマイナンバーの利用範囲の拡大について積極的に検討する。

問 認知症による徘徊が原因で行方不明となる者の発生を未然に防止し、また、行方不明者を早期に発見するために、どのように取り組んでいくのか。

答 量販店等にも協力を願い、認知症サポーターを増員し、見守り体制の充実を図る。また、市町村単位の高齢者見守りネットワークを相互につなげ広域的な連携体制の構築に努める。

問 子供の頃から認知症について学習し、早い段階から社会全体で認知症に関する知識を共有することが重要であるが、学校における学習の取り組みは。

答 子供が、発達段階に応じて正しい知識を身に付け、あらゆる人を大切にし、認知症の支援者としての役割や責任が果たせるよう、学校における認知症についての学習の充実に努める。

徳島市津田地区に四国横断自動車道のインターチェンジを

喜多宏思（きた ひろし）（自由民主党・県民会議）

問 全区間高架となっている徳島市津田地区の高速道路計画を、地域活性化や防災面から盛土に変更し、津波避難場所や追加インターチェンジの設置に向けて検討してはどうか。

答 盛土構造への変更や追加インターチェンジの設置により防災機能や利便性の向上が図られる。今後具体化に向けた検討を進めたい。

問 今年は本県への観光誘客促進の大きなチャンスの年。観光誘客と宿泊者数の増加に向け、今後、どのように戦略的な取り組みを進めるのか。

答 旅行商品の造成促進や、「徳島－札幌線」の就航に合わせ、新たに札幌市内にアンテナショップを開設するなど、観光誘客と県産品販売について、効果的なキャンペーンを展開する。

問 「歳出の中から歳入を生み出す取り組み」を強力に展開することで産業力の強化を図り、将来的に税収増を通じた安定的な財政基盤の構築を目指すべき。

答 農林水産物の輸出促進や木造住宅の耐震化など、経済波及効果を重視した取り組みを推進し、産業力強化に向けた支援を効果的に実施することで、県税収入の増加を図る。

一般質問

南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた総合防災訓練を

笠井国利（かさい くにとし）（自由民主党・県民会議）

問 大きく見直された南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、今年の総合防災訓練は従来より強化する必要があると考えるが、どのように取り組むのか。

答 戦略的な災害医療体制の構築を重要なテーマに、海上漂流者の救助や搬送、フェリーの活用など、防災関係機関やカウンターパートである鳥取県と連携した実践的な訓練に取り組む。

問 農産物の価格低迷や担い手の高齢化、生産コストの増大など、農業を取り巻く環境が大きく変化するなか、もうかる農業の実現をどう図るのか。

答 次世代の徳島ファンづくり、成長品目への重点化に加え、新たなステージのブランド戦略を構築し、生産者団体や流通販売関係者と一体となり、攻めの施策を展開する。

問 スポーツ科学科が新設された鳴門渦潮高校において、オリンピックを目指すような優秀な競技者を育成するための方策をどのように考えているのか。

答 合宿所など教育環境の整備を進める。科学的なデータを収集し、大学教員らの専門的な指導・助言による教育内容の充実を図る。また、指導実績に優れた教員の配置に努める。

徳島版「こうのとりのゆりかご」を設置すべき

大西章英（おおにし あきひで）（公明党県議団）

問 熊本市の医療法人聖粒会慈恵病院の「こうのとりのゆりかご」と、徳島県内の各種相談窓口との連携による、親から望まれず生まれてきた幼き命を助ける対策を実施すべき。

答 妊娠・出産等に係る相談機関の周知や、子育てに不安を抱える母親への支援体制の構築など、安心して子供を産み育てられる社会の実現に取り組む。

問 子ども・子育て支援事業支援計画の策定に当たっては、現場の声を反映し、放課後児童クラブ（学童保育）の一斉総点検調査の実施や、公的施設の活用に向けた支援をすべき。

答 県内全クラブの状況を調査し意見等も伺っており、今後もきめ細かい実態把握に努める。また、公的施設の活用も市町村と十分検討し、着実な整備を進める。

問 夜間運行の実証実験やデモンストレーション走行の実施など、着々とDMV※（用語解説参照）導入準備が進んでいるが、導入時期及び導入基本計画は決まっているのか。また、現在の進捗状況は。

答 昨年度は駅舎改築基本計画（案）をとりまとめた。今後は、DMV運行に向けた鉄道事業計画の変更など手続きを推進し、一日も早い運行実現に取り組む。

本県開催の各知事会議の成果を県政発展にどうつなげるのか

北島勝也（きたじま かつや）（自由民主党・県民会議）

問 本県でそれぞれ開催された、近畿知事会議及び四国知事会議並びに関西広域連合委員会の成果を踏まえ、県域を越えた広域行政にどう取り組むのか。

答 四国と近畿の結節点たる本県の発展のため、四国新幹線の実現や東京オリンピック等を契機とした関西の文化力活用の提言など、新しい時代にふさわしい広域行政像をリードしていく。

問 新しい加賀須野橋は、国内最大規模の可動橋であり、地域の新ランドマークにふさわしい。この橋を広く発信するため、橋の特徴を生かし、工夫を凝らした開通式のセレモニーをすべき。

答 8月8日に開通式を行い、13メートル上昇する橋桁による小学生の昇降体験、船舶の海上通り初め等を行い、技術はもとより様々な情報を全国へ発信する。

問 約60年ぶりの教育委員会制度改革により、知事が教育委員会と本県教育の在り方を議論できるようになる。知事は今後どう教育行政に関わっていくのか。

答 総合教育会議で大いに議論し、未来を創造するたくましい人づくりに向けた本県教育のあるべき姿を示す。また、教育委員会との連携をより密にし、教育行政の充実に全力を傾注していく。

6月定例会委員会の概要

常任委員会

●総務委員会

公安委員会関係では、4月に統合した阿波吉野川署、美馬署の統合による効果や今後の統廃合の在り方について、**県民環境部関係**では、国体の順位及び競技力向上に向けた取り組みについて、**政策創造部関係**では、人口減少問題に対する県の取り組みについて質疑があり、**経営戦略部・監察局関係**では、将来に向けての総合的な公共施設の管理計画について議論がありました。

●経済委員会

商工労働部関係では、県下の事業者数が減少している現状を打開するための対策の一つとして、子供の頃からの起業家精神にたけた人材の育成について質疑がありました。また、**農林水産部関係**では、農業の担い手の高齢化や耕作放棄地の拡大など、農業の現場で様々な問題を抱えている中、昨年度末に設置された農地中間管理機構の取り組みなどについて質疑がありました。

●文教厚生委員会

保健福祉部・病院局関係では、徳島県鳴門病院に関し、地方独立行政法人として初となる平成25年度決算の状況及び今後の取り組みについて質疑がありました。また、**教育委員会関係**では、小学校における英語教育の早期化・教科化の実施に向けた教員の指導力の向上、Tokushima英語村プロジェクトに関し、今夏に実施される英語村の概要と今後の方向性などについて質疑がありました。

●県土整備委員会

県土整備部関係では、建設業における若者の雇用促進を図るための施策の展開について質疑があり、南部健康運動公園陸上競技場の整備等について議論がなされました。また、**企業局関係**では、公営企業である企業局が初めて行う太陽光発電事業の将来展望について、**危機管理部関係**では、徳島県防災会議条例の一部改正の内容について、それぞれ質疑がありました。

特別委員会

●広域交流対策特別委員会

観光交流の促進に関し、県内の宿泊者数や観光消費額の増加要因の分析と観光誘客の取り組み、道路整備利用促進基金の活用策などについて質疑がありました。そのほか、四国新幹線の導入に向けた機運の醸成、阿波おどり空港の利用促進、羽田空港における発着枠の拡大、農林水産物の販路拡大に係る今後の取り組み、高規格道路の早期整備などについて質疑がありました。

●過疎・少子高齢化対策特別委員会

人口減少社会を迎えるに当たり、教育委員会がモデル事業として研究しているチェーンスクール及びパッケージスクールの取り組みや生産年齢人口の減少による労働力不足、農業・農村維持への取り組みについて質疑がありました。そのほか、SNSを活用した婚活の取り組みや過疎地域での放課後児童クラブの状況、農林水産物の6次産業化の推進状況、ニホンザル加害群への対策についての質疑がありました。

●防災対策特別委員会

災害対策に関し、自衛隊ヘリコプターによる夜間災害時救急搬送訓練について質疑がありました。そのほか、地域における水・食糧の継続的確保及びエネルギーの自給自足体制の構築、災害廃棄物の処理に係る業者団体との連携強化、避難所での配置薬に関する取り組み、災害遺産を防災教育に生かす取り組み、家庭及び事業所における家具・備品の転倒・落下対策などについて質疑がありました。

●環境対策特別委員会

エネルギー対策に関し、農業振興に向けた再生可能エネルギーの推進、木質バイオマスの活用などについて質疑がありました。そのほか、地球温暖化対策としての森づくりの推進、学校におけるエネルギー・放射線教育の支援事業、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウ対策の取り組み、セアカゴケグモによる被害防止対策、河川浄化の推進などについて質疑がありました。

本会議・委員会を見に来ませんか？

●本会議

本会議は、傍聴することができます。傍聴は本会議当日、先着順に受け付けていますので、議事堂1階の傍聴受付までお越しください。

●委員会

常任・特別委員会をテレビモニターで視聴することができます。視聴は委員会当日、先着順に受け付けていますので、議事堂1階の議会情報コーナーまでお越しください。

県立総合大学校の単位認定講座です!!

本会議の傍聴及び委員会の視聴を、県立総合大学校の講座に位置付けています。単位を取得したい方は受付に申し付けください。単位は1日1単位で、県立総合大学校に入学していない方でも取得できます。

主な審議の結果

●可決・同意・承認された議案

- 平成26年度補正予算
  - ■一般会計（1件）／補正予算額は29億4,386万5千円の増額で、補正後の予算は、4,807億2,736万5千円
  - ■特別会計（2件）
- 条例の制定（3件）
  - ■徳島県道路整備利用促進基金条例の制定 など
- 条例の一部改正（5件）
  - ■徳島県防災会議条例の一部改正 など
- 条例の廃止（1件）
  - ■徳島県借上公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の廃止
- 指定管理者の指定（1件）　●契約案件（4件）　●人事案件（3件）
- 専決処分の承認（2件）

●可決された意見書（4件）

- ■海洋環境整備事業の充実を求める意見書
- ■羽田空港発着枠の拡大等に関する意見書
- ■森林整備加速化・林業再生基金事業の継続を求める意見書
- ■参議院選挙制度改革に対する意見書

●採択された請願（4件）

- ■徳島県南部健康運動公園について
- ■徳島県南部健康運動公園陸上競技場について
- ■公共施設等へのLPガス設備の導入について
- ■海洋環境整備事業の充実について

議会トピックス

- 6月15日に実施された県議会議員補欠選挙（徳島選挙区）において、須見一仁議員（県土整備委員、環境対策特別委員）、井川龍二議員（文教厚生委員、広域交流対策特別委員）が当選されました。
- 「いけるよ!徳島・行動計画」の計画期間満了に伴う新たな総合計画を、基本計画議決条例により議会の議決対象とすることに決定しました。（6月24日）
- 県議会と徳島文理大学との包括連携協定に基づき、学生に議場の見学及び議会の概要説明を行いました。（5月22日）
- 県内の小学校4年生から6年生までの児童とその保護者を対象に、「夏休み親子県議会体験会」を開催し、議会についての授業、議事堂見学、子ども県議会等を行いました。（7月28日）

議員連盟の活動

- 森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟四国地方連絡会議、四国観光議員連盟、四国公共交通議員連盟の総会が香川県で開かれました。（5月30日）

県議会の見学者等

- 鴨島ロータリークラブ、Rotary Club of Central Tarlac
- 徳島大学薬学部
- 鴨島公民館　生涯学習講座「そこがもっと知りたい」受講生
- 飯尾敷地小学校（吉野川市）
- 西井川小学校（三好市）
- 下名小学校（三好市）

用語解説

【DMV】

DMVは「デュアル・モード・ビークル（Dual Mode Vehicle）」の略で、線路と道路の双方をスムーズに行き来できる次世代の乗り物

議会日程

日程は予定であり、変更する場合があります。
平成26年9月定例会の日程（予定）

月	日	摘　　要
9	19	常任委員会
	22、24	特別委員会
	25	本会議（開会）
10	1	本会議（代表質問）
	2、3	本会議（一般質問）
	7、8、9、10	常任委員会
	14、15	特別委員会
	21	本会議（閉会）

●議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、「阿波そだちコシヒカリ」（5kg）と、県立近代美術館特別展「三宅克己（みやけこっき）回顧展」入場券をセットにして、プレゼントいたします。

Q.徳島県議会フォトコンテストのメーンテーマは、前回同様、「未来に伝えたい徳島の文化」ですが、今回募集している作品テーマは「わたしが選ぶ徳島の○○○○」です。さて、○○○○には何が入るでしょうか。ヒントは紙面上にあります。

- 応募方法:はがき、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
- 応募先:〒770－8570（住所記入不要）
  徳島県議会事務局 政策調査課
  メールアドレス:gikaijimukyoku@pref.tokushima.lg.jp
  ファクシミリ:088－655－2530
- 締切:平成26年9月30日（火）消印有効（当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。）

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

阿波そだちコシヒカリ

【提供】全国農業協同組合連合会徳島県本部

三宅克己回顧展

徳島市生まれの水彩画家三宅克己の生誕140年・没後60年を記念した回顧展
とき:10月11日（土）～12月7日（日）
ところ:徳島県立近代美術館

三宅克己 作 1920年頃
「伊太利（イタリー）ヴェロナの古橋」

●徳島県議会フォトコンテスト 作品募集!

議員提案により制定した「とくしま文化の日を定める条例」に基づき、とくしま文化推進期間実施事業として、「未来に伝えたい徳島の文化」をメーンテーマとした写真を募集します。

- **作品テーマ**　わたしが選ぶ徳島の文化遺産
- **表彰・賞**　議長賞ほか計18点
  議長賞受賞作品は「議会の概要」の表紙に掲載し、全入賞作品について表彰、展示、ホームページ掲載を行います。
- **応募方法**　四切又はA4サイズに現像（印刷）して、郵送又は持込み
- **応募期間**　平成26年11月28日まで（必着）

詳しくは、議会ホームページ又は県民サービスセンター、各総合県民局などの関係機関に備え付けのチラシを御覧ください。

市役所、町村役場、または県の総合県民局、各庁舎、県庁内のサービスセンター、県議会事務局で同じ内容の広報紙をお渡ししています。